

平成15年度に実施した魚類胃内容物調査結果（表-6.12.2(6)）から、事業実施区域周辺海域における海域生物の食物連鎖の関係を整理し、図-6.12.2(6)に示す。

事業実施区域周辺海域における海域生物の食物連鎖は、サンゴ礁、海草藻場等の生息基盤の上に成り立っている。

事業実施区域周辺海域においては、栄養物質濃度が相対的に低いため、植物プランクトンの量は少なく、低次生産力は低い。そのためイワシ類等のプランクトン（カイアシ類）食性魚類の現存量が少ないが、底生動物の幼生や海草上に付着する微小藻類、葉上の小型底生動物等を捕食する低次の底生動物や小型魚類がイワシ類に代わる低次動物群として位置づけられる。さらにはサンゴや海藻草類といった基盤そのものを摂食する魚種が比較的多く、多様な食物連鎖が形成されている。